



塚田 典功
(自民クラブ)

**小中学校歯科健診
器具の衛生管理
見直しを**

問 議員有志で検討を重ねてきた宇都宮市歯及び口腔の健康づくり推進条例が29年11月に施行となり、歯と口腔の健康づくりに向けた取り組みが、今後益々推進されていくものと期待している。市では子ども歯と口腔の健康づくりのため、発達段階に応じた取り組みを計画的に行っているが、小中学校の歯科健診で使用されている器具の衛生管理方法は、主に煮沸消毒と聞いている。現在の医療現場では、高圧蒸気滅菌法などによる衛生管理が一般的になっており、学校の歯科健診器具の衛生管理方法も見直しが必要ではないか。

答 市内小中学校の歯科健診では、日本学校保健会作成のマニュアルに基づき、器具を消毒液などで洗浄し煮沸消毒するなどの衛生管理を行っているが、27年度のマニュアル改訂で高圧蒸気滅菌等による処理が望ましいとされ、学校現場から導入について意見が出ている。約4万人の児童生徒の健診が4月から6月に集中するため、円滑な健診の実施に課題はあるが、健診器具の衛生管理方法として高圧蒸気滅菌法がより効果が高いため、今後導入について検討していく。



その他の質問項目

- ①市長の政治姿勢 宇都宮駅東口地区整備事業、LRTイVENT列車などの病児保育事業の送迎対応
- ③保健福祉行政
- ④サイクルシェアリングの取り組み
- ⑤歴史文化を知ってもらうための取り組み
- ⑥自治会への支援強化
- ⑦動物譲渡
- ⑧住宅用火災警報器の普及促進



山崎 昌子
(自民党)

競輪場 スポーツ施設として活用を

問 市の競輪事業は、昭和25年の開設以降、約800億円の収益金を生み出し、貴重な財源として市の発展を支えてきた。29年度中にナイター照明の整備が完了し、ミッドナイト競輪が開催されることから、設備を活用した更なる活性化や売り上げの向上に期待している。東京オリンピック・パラリンピックや栃木国体を契機に、競輪がもっと市民に親しまれ愛される自転車競技へと発展するための中核となるのが競輪場である。子ども達が自転車を楽しみ、市民の健康維持や交流の場となるスポーツ施設として活用していくべきと考えるが利活用の考え方を聞く。

答 競輪場は、芝生スペースやシアターホールなどを有する都心部の魅力的な公共施設であり有効活用していく必要がある。バンクは本場開催や雨天時を除き、競技大会や練習などにほぼ毎日利用されており、毎年開催している競輪フェスティバルでは、子どもたちが自転車に親しみ選手と触れ合える機会を提供している。今後、ナイター設備の設置により夜間の利用も可能となるため、スポーツ施設としての利用拡大に加え、芝生スペースやシアターホールを利用した夜間イベントのほか、非開催日の交流イベントの開催など、施設の活用促進を検討していく。



▲宇都宮競輪場の外観

その他の質問項目

- ①児童虐待への対応
- ②改訂宇都宮市いじめ防止基本方針
- ③学校給食
- ④郷土の歴史や偉人を学べる施設の整備や取り組み



中塚 英範
(市民連合)

**インフルエンザ治療薬
摂取後の事故
十分な情報提供を**

問 厚生労働省によると、タミフルやリレンザなどのインフルエンザ治療薬を飲んだ後、急に走り出したり、部屋から飛び出そうとしたなどの異常行動の報告が、昨シーズンだけで54件あり、過去には、死亡事故も報告されている。インフルエンザが猛威を振るう時期であり、厚生労働省からの異常行動などの報告や、具体的な対策を呼びかける通知をホームページなどで市民に周知し、注意を促すべきでは。

未成年者が一人にならないよう配慮することや、玄関や窓の施錠をするなどの保護対策を講じることを、医療関係者から患者や保護者に説明することが、国からの通知で示された。市では、速やかに市医師会や医療機関、市薬剤師会に周知するとともに、小中学校に対し、保護者に周知するよう通知したほか、市民に対してもホームページを通じて広く周知した。インフルエンザの流行期に入ったため、最新情報を速やかに小中学校や保育所などに情報提供したり、ホームページや広報紙などで周知していく。



その他の質問項目

- ①公共の福祉に資する施設整備における市民合意
- ②こどもの貧困対策
- ③盲導犬の理解及び普及促進
- ④人口増加地域における対策
- ⑤運転免許返納対策
- ⑥自転車のまち宇都宮の促進(レンタサイクル、シェアサイクル)